

How to play (パーセク 1 ver.)

※パーセクとは天文学で使われる距離の単位です。

本カードは、大きく分けて初心者用のパーセク 1 と、慣れた人用のパーセク 2 の、ふたつの遊び方があります。当項目では、パーセク 1 について説明します。

【ゲームの概要】

このゲームは、初心者向きです。

メシエカード 110 枚のうち、50 枚を使用して遊びます。

【使用するカード】

使用する 50 枚は次のとおりです。

(対応カードには目印として写真右下に●が付いています。)

M 4, 5, 6, 7, 9, 10, 11, 12, 13, 14,
20, 24, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37,
38, 41, 42, 44, 45, 47, 48, 49, 50, 51,
52, 53, 57, 59, 60, 67, 68, 72, 74, 76,
81, 88, 93, 97, 99, 100, 101, 102, 103, 110

この 50 枚は、ゲームバランスが最適になるように、季節・種類を配分よく選んだものです。

【ゲームの始め方】

- ① 50 枚のカードをよくシャッフルします。
- ② その後、遊ぶ人全員に 5 枚ずつ配ります。
- ③ 山札から 1 枚めくり、裏返しに置かれている山札のそばに表向きに置きます。
(最初の捨て札になります。)
- ④ ゲームを開始する人を決めます。
(じゃんけんでも良いし、前のゲームで負けた人から始めるのも良いでしょう。)
- ⑤ カードを出す順番は、1 番目の人から時計回り(右回り)になります。
- ⑥ ⑤までに決まった順番でカードを出していきます。
- ⑦ 最初に全ての持ち札がなくなった人が勝ちです。

以後、カードがなくなった順番に順位を決めていきます。



【カードの出し方】

基本の出し方

例えば、一番上の捨て札がM 4だったとします。

M 4はさそり座（夏）の球状星団です。



出す順番の人は、「夏」のカードか、「球状星団」のカードを出せます。

全季節（春 夏 秋 冬）・球状星団 のカードを出すのはOKです。



夏・全種類（散開星団 球状星団 渦巻銀河 その他）のカードを出すのはOKです。



上記以外のカードを出すのはNGです。（季節も種類も異なる）

複数枚の出し方

カードは複数枚出すことも可能です。

例えば、一番上の捨て札が前項と同じM 4（夏・球状星団） だったとします。

あなたが、「夏」のカードを3枚持っていれば、同時に3枚全て出すことができます。



あなたが、「球状星団」のカードを2枚持っていれば、同時に2枚全て出すことができます。



しかし、次のような出し方はできません。

①「夏・散開星団」と、「秋・球状星団」を出す。



同時にらせるのは全て「夏」のカードか、全て「球状星団」のカードでなければなりません。



②「夏・散開星団」を1枚目、「秋・散開星団」を2枚目として同時に出す。



2枚目のカードも、もともとの捨て札の1番上とつながっていなければなりません。

手札部に出せるカードがない場合

あなたの手持ちの札に出せるカードがない場合（もしくは出せるカードはあるけど、あえて出さない場合）は、山札から一枚取ります。

もし、取ったカードと捨て札の一番上のカードが「季節」「種類」いずれかで一致していた場合は、山札から取ったカードを、そのまますぐに捨てても構いません。

【役札】

役札の種類・効果

パーセク 1 には、次の 3 種類（細かく分けると 4 種類）の役札があります。

- Galaxie（ギャラクシー）＝1 人飛ばし
- Star Cluster（スタークラスター）＝反対回り
- Starforming Nebulae（スターフォーミングネビュラ）＝4 枚爆弾
William Herschel（ウィリアムハーシェル）＝4 枚爆弾

Galaxie（ギャラクシー）

ギャラクシーは、1 人飛ばしの効果があります。

今、ゲームが時計回りに回っているとすると、あなたの順番の次は、左隣の人ですが、あなたがギャラクシーを出すと、左隣の人は飛ばされ、2 人目の人になります。

ギャラクシーは複数枚同時に使えます。

2 枚出すと 4 人目まで飛びます。3 枚なら 6 人目まで飛びます。

Star Cluster（スタークラスター）

スタークラスターは、回り方を反対にします。

時計回り（右回り）の時にスタークラスターが出ると、反時計回り（左回り）に変わります。

スタークラスターは複数枚同時に使えます。

2 枚出すと、反対の反対ですから、元の通りの回り方になります。

3 枚出すと、反対の反対の反対、すなわち回り方が逆になります。

Starforming Nebulae（スターフォーミングネビュラ） William Herschel（ウィリアムハーシェル）

スターフォーミングネビュラと、ウィリアムハーシェルは同じ効果です。

これらのカードが出されると、次の人は山札から 4 枚取らなければなりません。

ただし、次の人がスターフォーミングネビュラまたはウィリアムハーシェルを持っていた場合は、例外的にそれらのカードを出すことで、避けることができます。（この場合、出せるカードはスターフォーミングネビュラまたはウィリアムハーシェルのみであり、その他のカードを出すことは許されていません）

スターフォーミングネビュラとウィリアムハーシェルは、同時に複数枚出すことができます。2 枚出されていると、次の人は 8 枚取らなければなりません。3 枚出されていると、1 2 枚取ることになります。

取る枚数は、1 人が複数枚出した時も、次々とみんなが出した時も、同じです。

※スターフォーミングネビュラ等で 4 枚や 8 枚取られた場合、通常の山札から 1 枚取る時のように、取ると同時に捨てることは禁止されています。

役札が錯綜する場合

カードは複数枚出すことも可能です。役札は、違う種類の役札と一緒に出すこともできます。よって、R と S の混同、R と爆弾等の混同等、役札が錯綜する場合があります。また役は、一般のカード（役札ではないカード）と一緒に出すこともできます。

例：時計回りの時に、ギャラクシーとスタークラスターを同時に出した場合

▶この場合は、回り方が反時計回りになり、かつ、右隣の人は飛ばされ、右 2 人目の人の順番になります。

例：時計回りの時に、ギャラクシーとウィリアムハーシェルを同時に出した場合

▶この場合は、左隣の人は飛ばされ、左 2 人目の人が（スターフォーミングネビュラかウィリアムハーシェルを持っていない限り）4 枚取らなければなりません。

【上がり】

前述のようにゲームを行い、最初に全ての持ち札がなくなった人が勝ちです。

以後、カードがなくなった順番に順位を決めていきます。

掛け声

カードがあと 1 枚になった人は、カードを出すと同時に「シャルル！」と掛け声をかけなければなりません。また、最後のカードを出し、上がる時は、「メシエ！」と掛け声をかけなければなりません。

これらの掛け声を忘れた時は、ペナルティとして 1 枚山札から取ります。

最後のあがり札を複数枚同時に出す場合でも、残り 1 枚の掛け声である「シャルル！」と上がる時の掛け声である「メシエ！」は必ず言わなければペナルティとなります。

役札ではあがれない

ギャラクシー、スタークラスター、スターフォーミングネビュラ、ウィリアムハーシールの役札を上がり札にすることはできません。

複数枚同時に出して上がる場合も、その中に 1 枚でも役札が入っていれば、上がりは無効になります。この場合、札を捨てて一旦持ち札を 0 にすることはできますが、山札から 1 枚とり、ゲーム続行になります。

How to play (パーセク 2 ver.)

※パーセクとは天文学で使われる距離の単位です。

本カードは、大きく分けて初心者用のパーセク 1 と、慣れた人用のパーセク 2 の、ふたつの遊び方があります。当項目では、パーセク 2 について説明します。

【ゲームの概要】

このゲームは、経験者向きです。

パーセク 1 の 50 枚に対し、メシエカード 110 枚の全てを使用して遊びます。

【ゲームの始め方】

- ① カードをよくシャッフルします。
 - ② その後、遊ぶ人全員に 7 枚ずつ配ります。
 - ③ 山札から 1 枚めくり、裏返しに置かれている山札のそばに表向きに置きます。
(最初の捨て札になります。)
 - ④ ゲームを開始する人を決めます。
(じゃんけんでも良いし、前のゲームで負けた人から始めるのも良いでしょう。)
 - ⑤ カードを出す順番は、1 番目の人から時計回り (右回り) になります。
 - ⑥ ⑤までに決まった順番でカードを出していきます。
 - ⑦ 最初に全ての持ち札がなくなった人が勝ちです。
- 以後、カードがなくなった順番に順位を決めていきます。

【カードの出し方】

カードの出し方はパーセク 1 と同じになります。

P02 のパーセク 1 の同項目をご参照下さい。

【役札】

役札の種類・効果

パーセク 2 には、次の 6 種類 (細かく分けると 7 種類) の役札があります。

パーセク 1 共通役札

- Galaxie (ギャラクシー) = 1 人飛ばし
- Star Cluster (スタークラスター) = 反対回り
- Starforming Nebulae (スターフォーミングネビュラ) = 4 枚爆弾
William Herschel (ウイリアムハーシェル) = 4 枚爆弾
+

パーセク 1 では使われない役札

- Supernova Remnant (スーパーノヴァレムナント) = 全員 10 枚ひく
- NGC2438 = カード引くのをかわす
- Joa! (ジョア!) = かけ声

Galaxie (ギャラクシー)

ギャラクシーは、1 人飛ばしの効果があります。

今、ゲームが時計回りに回っているとすると、あなたの順番の次は、左隣の人ですが、あなたがギャラクシーを出すと、左隣の人は飛ばされ、2 人目の人になります。

ギャラクシーは複数枚同時に出せます。

2 枚出すと 4 人目まで飛びます。3 枚なら 6 人目まで飛びます。

Star Cluster (スタークラスター)

スタークラスターは、回り方を反対にします。

時計回り (右回り) の時にスタークラスターが出ると、反時計回り (左回り) に変わります。

スタークラスターは複数枚同時に出せます。

2 枚出すと、反対の反対ですから、元の通りの回り方になります。

3 枚出すと、反対の反対の反対、すなわち回り方が逆になります。

Starforming Nebulae (スターフォーミングネビュラ) William Herschel (ウイリアムハーシェル)

スターフォーミングネビュラと、ウイリアムハーシェルは同じ効果です。

これらのカードが出されると、次の人は山札から 4 枚取らなければなりません。

ただし、次の人がスターフォーミングネビュラまたはウイリアムハーシェルを持っていた場合は、例外的にそれらのカードを出すことで、避けることができます。(この場合、出せるカードはスターフォーミングネビュラまたはウイリアムハーシェルのみであり、その他のカードを出すことは許されていません)

スターフォーミングネビュラとスターフォーミングネビュラは、同時に複数枚出すことができます。2枚出されていると、次の人は8枚取らなければなりません。3枚出されていると、12枚取ることになります。

取る枚数は、1人が複数枚出した時も、次々とみんなが出した時も、同じです。

※スターフォーミングネビュラ等で4枚や8枚取られた場合、通常の山札から1枚取る時のように、取ると同時に捨てることは禁止されています。

Supernova Remnant（スーパーノヴァレムナント）

スーパーノヴァレムナントの効果を持つカードはM1のみです。

このカードを出すとき、「スーパーノヴァレムナント」という必要があります。

①発言を行った場合 →あなたを含む全員がカードを10枚取ります。

②発言を忘れた場合 →あなたとあなたの両隣の人がカードを10枚取ります。

その後M1のカードは除外し、ゲームが終了するまで別のところに置いてください。

NGC2438

スターフォーミングネビュラやスターフォーミングネビュラを出されたときにこのカードを出すと、先のカードの効果を受け流すことができます。受け流した効果は次の順番の人へ移ります。

Joa! (ジョア!)

この星雲に住んでいる宇宙人の掛け声である「ジョア!」を叫んでカードを出さなければなりません。言うのを忘れていた場合、自分が1枚ひかなければなりません。

なお、M78は合わせてStarforming Nebulaeにもなっていますから、Joa!とともに、次の相手にカードを4枚ひかせる効果（Starforming Nebulae）を持ちます。

役札が錯綜する場合

カードは複数枚出すことも可能です。役札は、違う種類の役札と一緒に出すこともできます。よって、RとSの混同、Rと爆弾等の混同等、役札が錯綜する場合があります。また役は、一般のカード（役札ではないカード）と一緒に出すこともできます。

例：時計回りの時に、ギャラクシーとスタークラスターを同時に出した場合

▶この場合は、回り方が反時計回りになり、かつ、右隣の人は飛ばされ、右2人目の人の順番になります。

例：時計回りの時に、ギャラクシーとウィリアムハーシェルを同時に出した場合

▶この場合は、左隣の人は飛ばされ、左2人目の人が（スターフォーミングネビュラかウィリアムハーシェルを持っていない限り）4枚取らなければなりません。

【上がり】

前述のようにゲームを行い、最初に全ての持ち札がなくなった人が勝ちです。

以後、カードがなくなった順番に順位を決めていきます。

掛け声

カードがあと1枚になった人は、カードを出すと同時に「シャルル!」と掛け声をかけなければなりません。また、最後のカードを出し、上がる時は、「メシエ!」と掛け声をかけなければなりません。

これらの掛け声を忘れた時は、ペナルティとして1枚山札から取ります。

最後のあがり札を複数枚同時に出す場合でも、残り1枚の掛け声である「シャルル!」と上がる時の掛け声である「メシエ!」は必ず言わなければペナルティとなります。

パーセク1とは異なり、役札であがってもよい

パーセク1では、役札上がりが禁じられていましたが、パーセク2は、役札で上がることが許されています。

Charles Messier について

メシエカードの由来となったシャルル・メシエは、18世紀の天文学者で彗星発見者として名を馳せた人物です。フランス、パリ天文台に勤務し夜空にまだ発見されていない新彗星を発見すべく観測を行っていました。

しかし、新彗星を発見した!と思ったら、それは彗星では無く、似た見た目の惑星やその他の天体であることが少なくありませんでした。そこでメシエ自身が、彗星を発見したとめか喜びしないためにも、新彗星に間違えやすい天体をリストアップしたものが、メシエカタログとよばれる星雲や星団のリストになりました。

18世紀は望遠鏡を使って肉眼で天体を観測していた時代でした。21世紀となった今でも、メシエカタログの天体リストは、肉眼の観測で用いられています。



役札の由来

●ギャラクシー

ギャラクシーとは、銀河のことです。われわれの住む天の川銀河から最も近いアンドロメダ大星雲（M31）でも約220万光年の遠方にあり、仮にこれをキロメートル単位で表すと、21,000,000,000,000,000,000キロメートルとなります。和文で言えば、2100京キロメートルにもなります。仮にこのような遠いところへ行こうとすれば、ワープを利用することが不可避であることにちなみ、一人飛ばしの役が与えられました。

●スタークラスター

スタークラスターは星団のことです。スター（星）とクラスター（集団）の造語。星団はさらに散開星団と球状星団に分かれます。メシエ天体の中では、散開星団の代表がM45、球状星団の代表がM13といえます。

●スターフォーミングネビュラ

スターフォーミングネビュラは星生成領域のことです。H II 領域（電離した水素が発光している領域）など、星雲を構成する元素は新たな星の材料となります。

●ウィリアムハーシェル

ウィリアムハーシェルは18世紀の天文学者です。惑星状星雲の命名者です。惑星状星雲は望遠鏡で見ると惑星のように見えたことから、このような名前になりました。

●NGC2438

M46のカードを見てください。これは散開星団ですが、その片隅に赤いリングのようなものがあります。これはNGC2438という惑星状星雲で、M46より約500光年手前にあります。散開星団と惑星状星雲が同じ方向に見えることにちなみ、このM46のカードだけ、4枚爆弾の効果を受け流すことができる事にしました。

●スーパーノヴァレムナント

スーパーノヴァは超新星のこと、レムナントは残骸のことです。すなわち、スーパーノヴァレムナントは超新星残骸のことです。質量の大きい星は、その最期に超新星爆発を起こしますが、その爆発後に星雲状の残骸が残ることがあります。超新星爆発にちなみ、ゲームを振り出しに戻すような効果、すなわち全員が10枚ずつカードを取るという効果を与えることにしました。

William Herschel について

役札の名前になっているウィリアム・ハーシェルも、シャルル・メシエと同じ18世紀の天文学者です。主な業績として天王星の発見があります。

ウィリアム・ハーシェルの役が付いているカードは、全て惑星状星雲（英語で Planetary Nebula）になります。この名称を決めたのがウィリアム・ハーシェルだということから、役札の名前として採用しました。

メシエと同じようにハーシェルも数千個の天体を観測して記録を残しています。天王星の発見以外にも、天の川銀河の研究、アステロイドの命名、赤外放射の発見等多くの研究業績を残しています。



製作者について

わたしたち、株式会社メシエカードは、徳島の星好きの仲間が集まってできました。天文好きの方、星に興味が出てきた方々など、幅広く楽しんでもらえたらと思って、このカードを制作致しました。

株式会社メシエカード

所在地 徳島市佐古三番町3番10号

代表取締役 山田大輔

取締役 小田大輔 志摩恭臣

設立年月日 2011年2月25日

株式会社メシエカードのページ

<http://www.mmcc.jp/>

メシエカード姉妹品

日食カード 絶賛発売中！



価格 2200 円（税込）

日食カードは、太陽と月を操り、日食を起こすカードゲームです。遊びながら、日食や月食のしくみを学ぼう！